

# 臨床推論の構築

責任者名：本吉 満(歯科矯正学)

学期：後期

対象学年：5年

授業形式等：演習

## ◆担当教員

本吉 満(歯科矯正学 教授)

高津 匡樹(歯科補綴学Ⅰ 准教授)

清水 康平(歯科保存学Ⅱ 准教授)

高田 宏起(歯科補綴学Ⅲ 助教)

大山 哲生(歯科補綴学Ⅱ 専任講師)

小森谷 康司(歯科保存学Ⅰ 助教)

浦田 健太郎(歯科補綴学Ⅰ 助教)

関 啓介(総合歯科学 専任講師)

新井 嘉則(歯科放射線学 教授)

松本 邦史(歯科放射線学 准教授)

外木 守雄(口腔外科学Ⅰ 教授)

生木 俊輔(口腔外科学Ⅱ 専任講師)

篠塚 啓二(口腔外科学Ⅰ 専任講師)

関野 麗子(歯科麻酔学 助教)

篠崎 貴弘(口腔内科学 専任講師)

馬谷原 琴枝(歯科矯正学 准教授)

阿部 仁子(摂食機能療法学 准教授)

白川 哲夫(小児歯科学 教授)

## ◆一般目標 (GIO)

症例ごとのクリニカルパスに沿った治療を行うために、各症例の症状と所見からその症例における病態の診断と治療計画を導き出す能力と、治療を遂行する能力を身につける。

## ◆到達目標 (SBOs)

1. 医療面接の知識や患者および種々の情報源から、必要な患者情報を収集できる。
2. 各症例の症状のメカニズムに関する知識やその症状から診断を導き出すことができる。
3. 症例ごとに適した検査、クリニカルパスに沿った治療計画を立案することができる。
4. 治療方針に基づいて問題を解決するための的確な診療手順、使用する器具や器材および患者管理について述べるることができる。

## ◆評価方法

2回の平常試験で評価する(各平常試験50%で計100%とする)。

平常試験の試験解説を行うことで学生へフィードバックを行う。

演習教科のため出席を前提とする。遅刻、欠席(忌引、公欠を除く)はマイナス評価とし、減点する。

◆オフィス・アワー

担当教員	対応時間・場所など	メールアドレス・連絡先	備考
本吉 満	月曜日 17:00~18:00	motoyoshi.mitsuru@nihon-u.ac.jp	
高津 匡樹	月曜日 17:00~18:00	takatu.masaki@nihon-u.ac.	
清水 康平	月曜日 17:00~18:00	shimizu.kouhei01@nihon-u.ac.jp	
高田 宏起	月曜日 17:00~18:00	takata.hiroki@nihon-u.ac.jp	
大山 哲生	月曜日 17:00~18:00	ohyama.tetsuo@nihon-u.ac.jp	
小森谷 康司	月曜日 17:00~18:00	shiratsuchi.koji@nihon-u.ac.jp	
浦田 健太郎	月曜日 17:00~18:00	urata.kenntarou@nihon-u.ac.jp	
関 啓介	月曜日 17:00~18:00	seki.keisuke@nihon-u.ac.jp	
新井 嘉則	月曜日 17:00~18:00	arai.yoshinori@nihon-u.ac.jp	
松本 邦史	月曜日 17:00~18:00	matsumoto.kunihito@nihon-u.ac.jp	
外木 守雄	月曜日 17:00~18:00	tonogi.morio@nihon-u.ac.jp	
生木 俊輔	月曜日 17:00~18:00	namaki.shunsuke@nihon-u.ac.jp	
篠塚 啓二	月曜日 17:00~18:00	shinozuka.keiji@nihon-u.ac.jp	
関野 麗子	月曜日 17:00~18:00	sekino.reiko08@nihon-u.ac.jp	
篠崎 貴弘	月曜日 17:00~18:00	shinozaki.takahiro@nihon-u.ac.jp	
馬谷原 琴枝	月曜日 17:00~18:00	mayahara.kotoe@nihon-u.ac.jp	
阿部 仁子	月曜日 17:00~18:00	abe.kimiko@nihon-u.ac.jp	
白川 哲夫	月曜日 17:00~18:00	shirakawa.tetsuo@nihon-u.ac.jp	

◆授業の方法

講義・演習

診断に要する基礎的知識の講義と、診断と治療計画の立案する演習を行う。

平常試験を実施し、次の講義にて解説を実施する。

【実務経験】本吉満：日本大学歯学部附属歯科病院での臨床経験を交えつつ病態の診断と治療計画を考える場を提供したいと考えています。

#### ◆教材（教科書、参考図書、プリント等）

種別	図書名	著者名	出版社名	発行年
参考図書	Case Based Review 画像診断に強くなる顎口腔領域の疾患	金田隆	未長書店	2017

#### ◆DP・CP

[DP-3]

コンピテンス：論理的・批判的思考力

コンピテンシー：多岐にわたる知識や情報を基に、論理的な思考や批判的な思考ができる。

[CP-3]幅広い教養と歯科医療に必要な体系的な知識を基に、論理的・批判的思考力と総合的な判断能力を育成する。

[CP-4]歯科医学の基礎知識を体系的に習得し、臨床的な視点で問題を解決する力を養成する。

#### ◆準備学習(予習・復習)

関連する教科の教科書などを読み、これまでに学修した内容を復習するとともに、蓄積した知識、理解度の再確認をしておくこと。

#### ◆準備学習時間

授業時間半分相当を充てて予習あるいは復習を行うこと。

#### ◆全学年を通しての関連教科

歯科学統合演習IV（4年通年）

顎機能治療学（4年前期）

歯内療法学（4年前期）

歯周病学（4年前期）

口腔外科手術と顎変形症（4年前期）

歯科矯正学（4年前期）

小児の歯科診療の基礎（3年後期）

歯科放射線学総論（3年前期）

口腔診断学（4年後期）

口腔外科治療の実際（4年後期）

#### ◆予定表

注意事項：授業には、自分がこれまでに活用した教科書、参考書あるいは配布資料などを持参のうえ出席すること。

回	クラス	月日	時限	学習項目	学修到達目標	担当	コアカリキュラム
1		6.24	6	【対面】歯内療法1	・現症の診査法を説明できる。	清水 康平	A-2 医学知識

				<p>1) 可逆性歯髄炎の診断と処置方針</p> <p>2) 不可逆性歯髄炎の診断と処置方針</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・可逆性歯髄炎と不可逆性歯髄炎の違いを述べることができる。</li> <li>・可逆性歯髄炎と不可逆性歯髄炎の治療法を述べることができる。</li> </ul>		と問題対応能力
2		6.24	7	<p>【対面】歯内療法 2</p> <p>3) 根尖性歯周炎の診断と処置方針</p> <p>4) 外科的歯内療法 of 適応症と術式</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・根尖性歯周炎の診査・診断法について説明できる。</li> <li>・根尖性歯周炎の治療法について述べることができる。</li> <li>・外科的歯内療法について説明できる。</li> <li>・外科的歯内療法 of 適応症と処置方針について説明できる。</li> </ul>	清水 康平	A-2 医学知識と問題対応能力
3		6.24	8	<p>【対面】クラウン・ブリッジ 1</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歯冠補綴, 少数歯欠損症例の診察と診断について説明できる。</li> <li>・必要となる検査法の選択, 治療計画の立案について説明できる。</li> </ul>	高田 宏起	A-2 医学知識と問題対応能力
4		7.1	6	<p>【対面】クラウン・ブリッジ 2</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・治療計画を左右する因子を述べるができる。</li> <li>・基本的な治療の進め方を説明できる。</li> </ul>	高田 宏起	A-2 医学知識と問題対応能力
5		7.1	7	<p>【対面】顎顔面補綴</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・顎補綴症例の診断および治療のクリニカルパスウェイを理解する。</li> <li>・手術後の形態と機能の変化について説明できる。</li> <li>・術後治療から最終補綴物装着までの過程を説明できる。</li> <li>・顎義歯の目的を説明できる。</li> <li>・顎顔面補綴の概要を説明できる。</li> </ul>	大山 哲生	A-2 医学知識と問題対応能力
6		7.1	8	<p>【対面】保存修復 1</p> <p>1) 歯の硬組織疾患の処置方針</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歯の硬組織疾患 (tooth wear (酸蝕症, 咬耗, 摩耗等), 歯の変色, 象牙質知覚過敏症を含む) の処置方針を説明できる。</li> </ul>	小森谷 康司	A-2 医学知識と問題対応能力
7		7.8	6	<p>【対面】保存修復 2</p> <p>歯の硬組織疾患の処置の実際</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歯の硬組織疾患 (toothwear を含む) に対するコンポジットレジン修復の臨床術式を説明できる。</li> </ul>	小森谷 康司	A-2 医学知識と問題対応能力

8		7.8	7	【対面】総義歯 1	・ 総義歯補綴治療において、医療面接、基本的診察および検査結果の情報を系統立て、的確な診断と治療法を選択することができる。	浦田 健太郎	A-2 医学知識と問題対応能力
9		7.8	8	【対面】総義歯 2	・ 治療方針に基づいて問題を解決するため、的確な診療の手順、使用する器具や器材、および患者管理について述べることができる。	浦田 健太郎	A-2 医学知識と問題対応能力
10		7.12	8	【対面】インプラント 1 1) インプラント治療の概要 2) インプラント治療の適応症例	・ 口腔インプラントを用いた欠損治療の概要を説明できる。 ・ 口腔インプラント治療の適応症例や検査項目を説明できる。	関 啓介	A-2 医学知識と問題対応能力
11		7.15	6	【対面】インプラント 2 3) 検査・診断と治療計画	・ 口腔インプラント症例の診査・診断を適切に行うことができる。 ・ 治療計画を立案できる。 ・ 患者に治療計画並びに治療効果を説明できる。	関 啓介	A-2 医学知識と問題対応能力
12		7.15	7	【対面】画像診断 1 画像検査の適応	・ 各種画像検査の適応と特徴を説明できる	松本 邦史	A-2 医学知識と問題対応能力
13		7.15	8	【対面】画像診断 2 顎骨・口腔領域の疾患 I	・ 顎骨・口腔領域に発生する嚢胞・腫瘍・炎症・外傷の画像的特徴と診断を説明できる。	新井 嘉則	A-2 医学知識と問題対応能力
14		7.19	6	【対面】画像診断 3 顎骨・口腔領域の疾患 II	・ 顎骨・口腔領域に発生する嚢胞・腫瘍・炎症・外傷の画像的特徴と診断を説明できる。	松本 邦史	A-2 医学知識と問題対応能力
15		7.19	7	【対面】画像診断 4 画像診断演習 1	・ 病歴、臨床検査、画像検査の情報から顎骨・口腔領域に発生する嚢胞・腫瘍・炎症・外傷の診断ができる。	新井 嘉則	A-2 医学知識と問題対応能力
16		7.19	8	【対面】画像診断 5 画像診断演習 2	・ 病歴、臨床検査、画像検査の情報から顎骨・口腔領域に発生する嚢胞・腫瘍・炎症・外傷の診断ができ	松本 邦史	A-2 医学知識と問題対応能力

					る。		
17		7.22	6	【対面】平常試験 1	・臨床推論の構築の内容（1回～16回）について試験を行い、習熟度を評価する。	高津 匡樹 馬谷原 琴枝	A-2 医学知識 と問題対応能力
18		7.22	7	【対面】平常試験 1	・臨床推論の構築の内容（1回～16回）について試験を行い、習熟度を評価する。	高津 匡樹 馬谷原 琴枝	A-2 医学知識 と問題対応能力
19		7.22	8	【対面】平常試験 1 解説	・解説により授業内容の理解度の確認及び習熟を図る。	小森谷 康司 浦田 健太郎 清水 康平 大山 哲生 関 啓介 松本 邦史 新井 嘉則 馬谷原 琴枝 高田 宏起	A-2 医学知識 と問題対応能力
20		7.29	6	【対面】口腔外科 1) 外傷と先天異常	・上下顎骨骨折の種類について確認し、その好発部位・臨床症状について述べるができる。 ・奇形・変形の種類を再確認し、それぞれの治療法を解説することができる。	生木 俊輔	A-2 医学知識 と問題対応能力
21		7.29	7	【対面】口腔外科 2) 口腔粘膜疾患 3) 唾液腺疾患	・口腔粘膜に発生する疾患について述べるができる。 ・唾液腺に発生する疾患を述べることができる。	篠塚 啓二	A-2 医学知識 と問題対応能力
22		7.29	8	【対面】口腔外科 4) 顎変形症	・顎変形症に対する手術計画立案と術式について説明することができる。	外木 守雄 篠塚 啓二	A-2 医学知識 と問題対応能力
23		8.5	6	【対面】歯科麻酔 歯科診療に必要な 全身管理	・成人の一次救命処置との違いを説明することができる。 ・窒息への対処法を説明することが	関野 麗子	A-2 医学知識 と問題対応能力

				1) 小児・乳児の一次救命処置 2) 異物による上気道閉塞	できる。		
24		8.5	7	【対面】 ペイン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・神経障害性疼痛について説明できる。</li> <li>・三叉神経痛の特徴について述べることができる。</li> <li>・三叉神経痛・帯状疱疹・外傷性三叉神経障害（症例提示）に対して必要な検査項目について説明できる。</li> <li>・三叉神経痛・帯状疱疹を症状から診断し、治療法を説明できる。</li> <li>・外傷性三叉神経障害（神経障害性疼痛）を病歴と症状から診断し、必要な検査と治療法を説明できる。</li> </ul>	篠崎 貴弘	A-2 医学知識と問題対応能力
25		8.5	8	【対面】 顎関節 1) 顎関節症の診査・診断	<ul style="list-style-type: none"> <li>・顎関節症症例の診察、検査について説明できる。</li> <li>・病態診断と原因の推測について説明できる。</li> <li>・適切な治療法の選択について説明できる。</li> </ul>	高津 匡樹	A-2 医学知識と問題対応能力
26		8.31	7	【対面】 歯科矯正 1) 不正咬合の原因と診査・診断	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不正咬合の病因・病態を述べるができる。</li> <li>・不正咬合の診査・診断を説明できる。</li> </ul>	馬谷原 琴枝	A-2 医学知識と問題対応能力
27		8.31	8	【対面】 歯科矯正 2) 矯正治療の実際	<ul style="list-style-type: none"> <li>・診断に基づいた歯科矯正治療の流れを述べるができる。</li> <li>・各種矯正装置の適応症を述べることができる。</li> </ul>	馬谷原 琴枝	A-2 医学知識と問題対応能力
28		9.7	7	【対面】 高齢者・摂食機能障害 1) 摂食機能療法（総論）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・摂食機能療法の基本的な理念とその実際を述べるができる。</li> <li>・摂食機能療法の診査・診断、対応について述べるができる。</li> </ul>	阿部 仁子	A-2 医学知識と問題対応能力 E-5-1) 高齢者の歯科治療
29		9.7	8	【対面】 高齢者・摂食機能障害	<ul style="list-style-type: none"> <li>・口腔機能低下症について述べるができる。</li> </ul>	阿部 仁子	A-2 医学知識と問題対応能力

				1) 摂食機能療法 (各論) 2) 口腔機能低下症			力 E-5-1)高齢者の の歯科治療
30		9.14	7	【対面】小児歯科 1) 小児期における 歯の外傷の診断、 治療 2) 乳歯列期, 混合 歯列期の咬合発育 診断	・乳歯および幼若永久歯の外傷の発生状況と診察時の留意点を述べる ことができる。 ・受傷歯の病態と診断方法を述べる ことができる。 ・受傷歯の治療方法と起こり得る予 後を述べる ことができる。 ・歯の外傷が咬合発育に及ぼす影響 とその対応法について説明できる。	白川 哲夫	A-2 医学知識 と問題対応能 力 E-5-1)高齢者 の歯科治療
31		9.14	8	【対面】障害者歯 科 1) スペシャルニー ズのある小児の歯 科治療 2) 小児から成人へ の移行期における 障害者歯科治療	・知的能力障害のある小児および成 人の歯科治療の留意点を説明でき る。 ・発達障害児に対する歯科治療の留 意点を説明できる。 ・有病小児の歯科治療にあたっての 留意点を説明できる。 ・移行期における障害者の歯科的問 題点を説明できる。	白川 哲夫	A-2 医学知識 と問題対応能 力
32		9.21	7	【対面】平常試験 2	・臨床推論の構築の内容について試 験を行い, 習熟度を評価する。	高津 匡樹 馬谷原 琴 枝	A-2 医学知識 と問題対応能 力
33		9.21	8	【対面】平常試験 2 解説	・解説により授業内容の理解度の確 認及び習熟を図る。	高津 匡樹 馬谷原 琴 枝 白川 哲夫 関野 麗子 篠塚 啓二 生木 俊輔 阿部 仁子 篠崎 貴弘	A-2 医学知識 と問題対応能 力



